

ソフトウェア品質のニューノーマルを探る -アジャイル・IoT・AIが当たり前のこれからのソフトウェアで大切な品質、そのマネジメント、技術は何か？- ~アジャイルの立場から~

2020年 12月10日
株式会社イデソン
誉田 直美

自己紹介

氏名：菅田 直美 (ほんだ なおみ)
現職：株式会社イデソン 代表取締役
公立ほこだて未来大学 客員教授 工学博士

略歴：

ソフトウェア品質の専門家として、30年以上に渡って大手電機会社で活躍。アジャイル開発には、約10年前から取り組み、数多くのアジャイル開発プロジェクトの品質保証を担当するほか、自ら開発チームを率いてプロダクトオーナーとして開発を推進した経験を持つ。単なる知識にとどまらず、現場経験に基づく実践的な品質保証が特徴である。

2020年、(株)イデソン設立。ソフトウェア品質に関するコンサルティングを中心に活動中。<https://ideson-worx.com/>

主な著書・執筆活動：

品質重視のアジャイル開発 ～成功率を高めるプラクティス・Doneの定義・開発チーム編成～ (日科技連出版) 2020年9月発行

ソフトウェア品質判定メソッド ～計画・各工程・出荷時の審査と分析評価技法～ (日科技連出版、編著) 2019年8月発行

ソフトウェア品質知識体系ガイド 第2版 -SQuBOK Guide V2- (オーム社、共著(執筆リーダー)) 2014年11月発行

ソフトウェア品質会計 (日科技連出版) 2010年発行 <2010年度 日経品質管理文献賞受賞>

ソフトウェア品質知識体系ガイド -SQuBOK Guide- (オーム社、共著)2007年11月発行 <2008年度 日経品質管理文献賞受賞>

ソフトウェア開発 オフショアリング完全ガイド (日経BP社 共著) 2004年10月発行

見積りの方法 (日科技連出版、共著) 1993年

受賞：

品質管理学会 品質管理推進貢献賞 (2020/11)

プロジェクトマネジメント学会 文献賞 (2016/9)

第5回世界ソフトウェア品質国際会議 (5WCSQ) 最優秀論文賞および最優秀発表賞 (2011/11)

第4回世界ソフトウェア品質国際会議 (4WCSQ) 最優秀論文賞 (2008/9)

学会：情報処理学会、品質管理学会、プロジェクトマネジメント学会

委員活動：

日科技連SQiソフトウェア品質委員会 副委員長

プロジェクトマネジメント学会 上席研究員

筑波大学大学院 非常勤講師 (2012年～2016年) 鳥取大学 非常勤講師 (2017年)



自己紹介（続き）

- これまでの品質体験は？
 - 職業人生すべてが品質体験です

- これまで何を大切としてきたのか？
 - 事実の重視

1. これまでのマネジメントや技術 は通用するか？

アジャイルの観点から

- ミニミニウォーターフォールではない
- 「細かく作って素早く確認」のサイクルが回る技法
 - 自動計測→自動判定
 - 独立性の高いアーキテクチャ
 - テスト自動化
 - ...

2. IoT & AI ベースの品質のあり方は？

アジャイルの観点から

■ 動的な品質で見る

- 世の中の素早い変化に対応して、常に必要な合格品質を保持

• 低スキル技術者は淘汰

- 産学が混然一体となってビジネスを作る時代

SW品質のニューノーマルを一言でいうと？

もう品質管理ではない

自律品質！



<https://ideson-worx.com>

